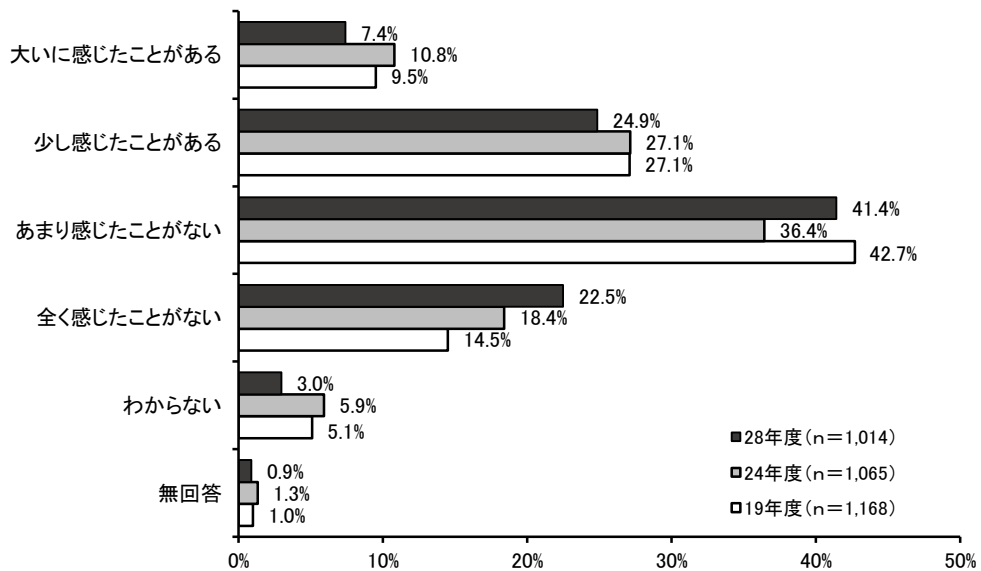


### 3-1 人権全般について

#### (1) 人権侵害を受けた経験

問1 あなたは、これまでに人権を侵害（暴力、脅迫、強要、プライバシーの侵害、差別待遇など）されたと感じたことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

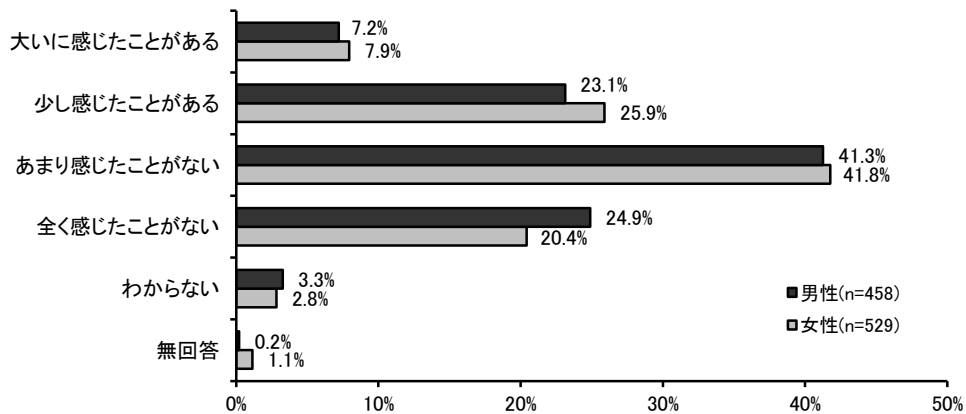


■ 「大いに感じたことがある」は7.4%、「少し感じたことがある」は24.9%で、“人権を侵害されたと感じた”人は32.3%となっている。

#### 【前回・前々回比較】

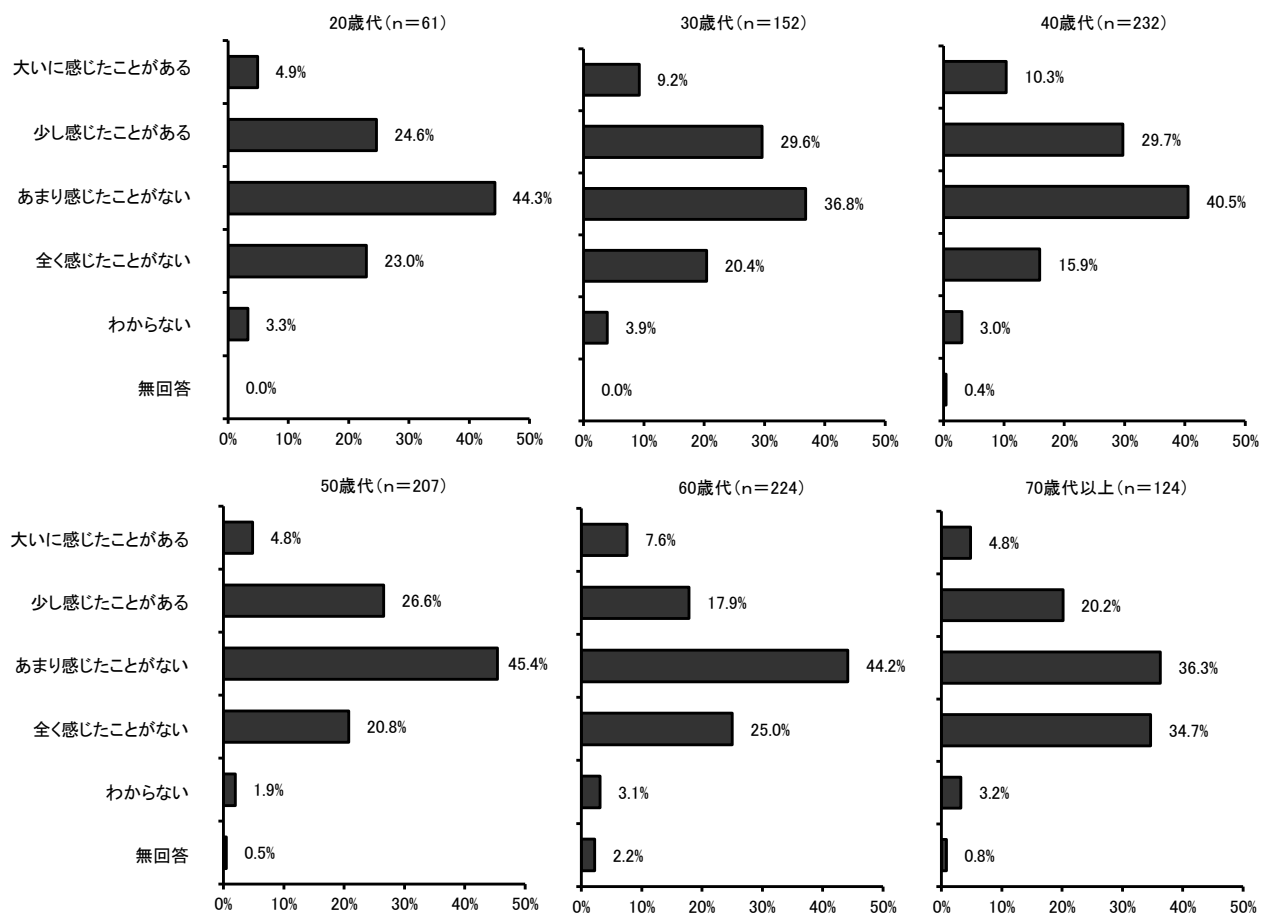
■ “人権を侵害されたと感じた”人は、前回の37.9%より5.6ポイント減少している。

#### 男女別



■ “人権を侵害されたと感じた”人は男性が30.3%、女性が33.8%で、女性がやや高くなっている。

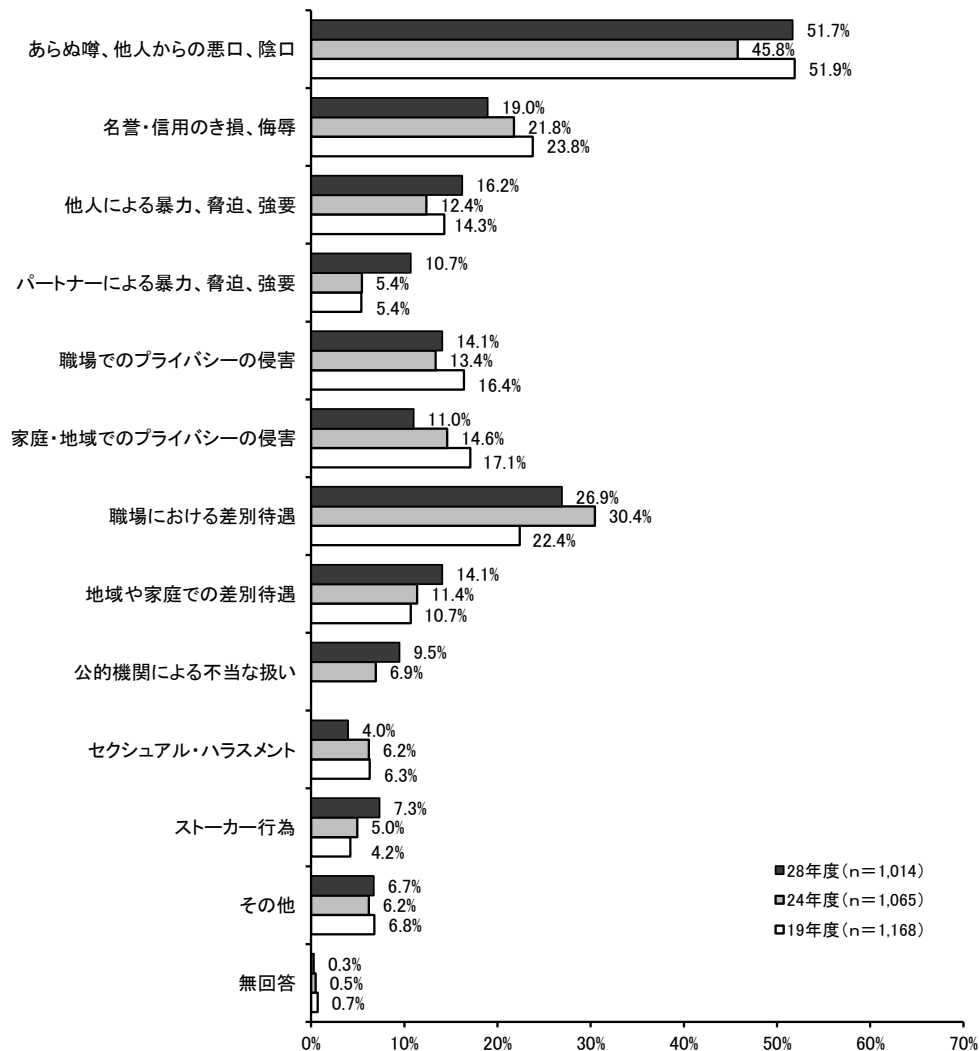
# 年代別



■ “人権を侵害されたと感じた” 人の割合は、40歳代で40.0%、30歳代で38.8%といずれの年代に比べて高くなっている。

## (2) 受けた人権侵害の内容

問2 問1で「大いに感じたことがある」または「少し感じたことがある」を選択された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



■ 「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が51.7%で最も高く、次いで「職場における差別待遇」が26.9%、「名誉・信用のき損、侮辱」が19.0%の順となっている。

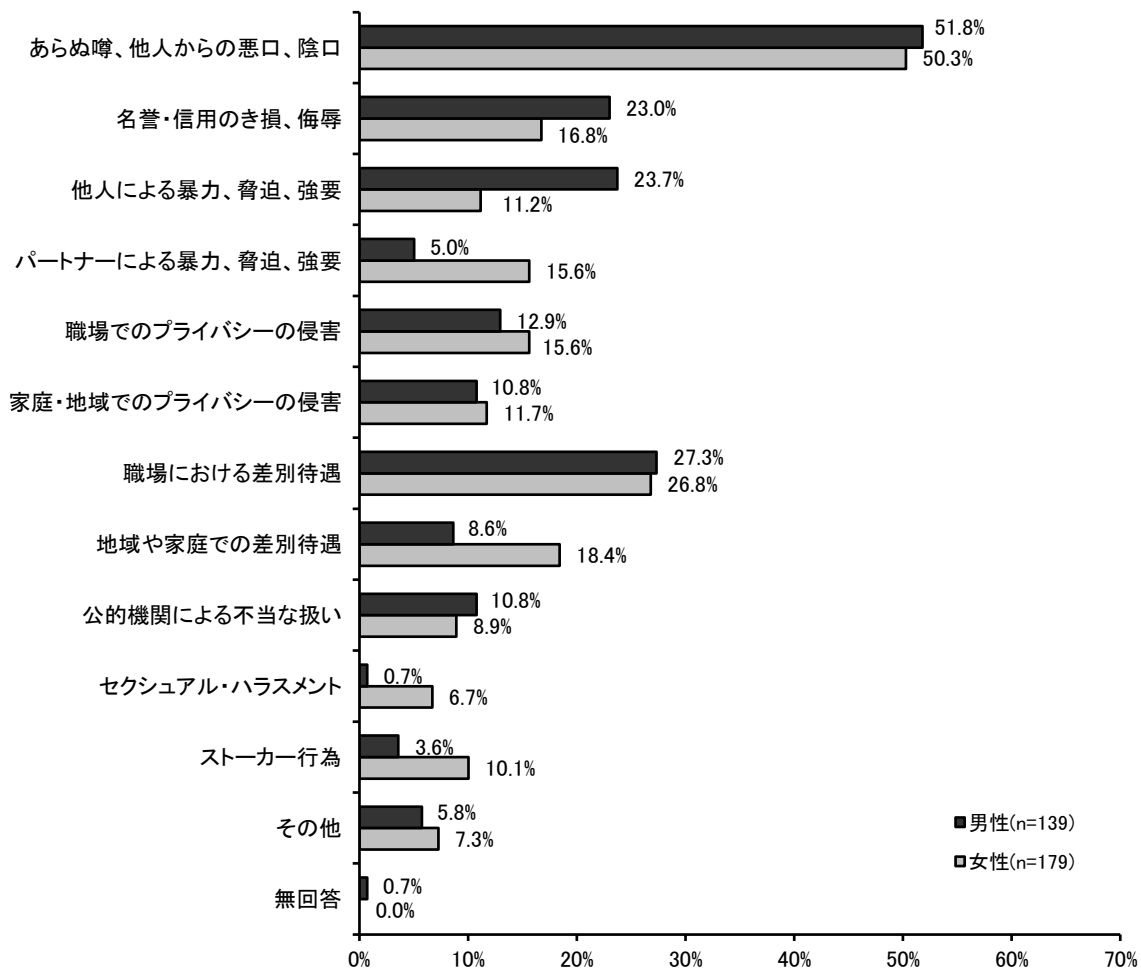
### 【前回・前々回比較】

■ 「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」は、前回の45.8%より5.9ポイント増加しており、「職場における差別待遇」では、前回の30.4%より3.5ポイント、「名誉・信用のき損、侮辱」では、前回の21.8%より2.8ポイントそれぞれ減少している。「パートナーによる暴力、脅迫、強要」では、前回、前々回の5.4%より5.3ポイント増加している。

■ 「家庭・地域でのプライバシーの侵害」は前々回より6.1ポイント増加している。

※ 「公的機関による不当な扱い」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

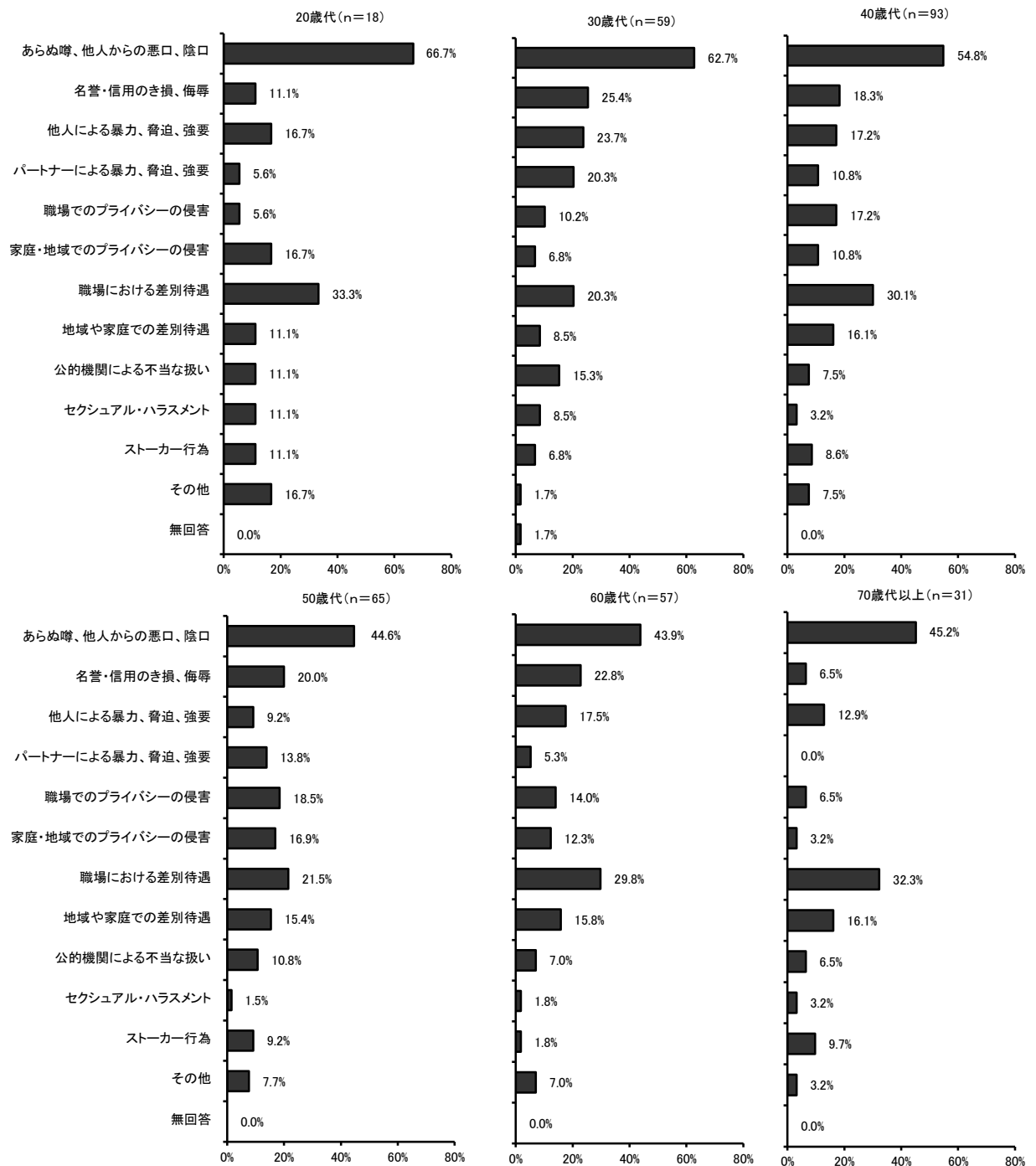
## 男女別



■男女共に「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が5割を超えて最も高く、次いで「職場における差別待遇」は男性が27.3%、女性が26.8%、男性の「他人による暴力、脅迫、強要」が23.7%、女性は「地域や家庭での差別待遇」が18.4%の順となっている。

■「パートナーによる暴力、脅迫、強要」「ストーカー行為」の割合は女性が高くなっている。

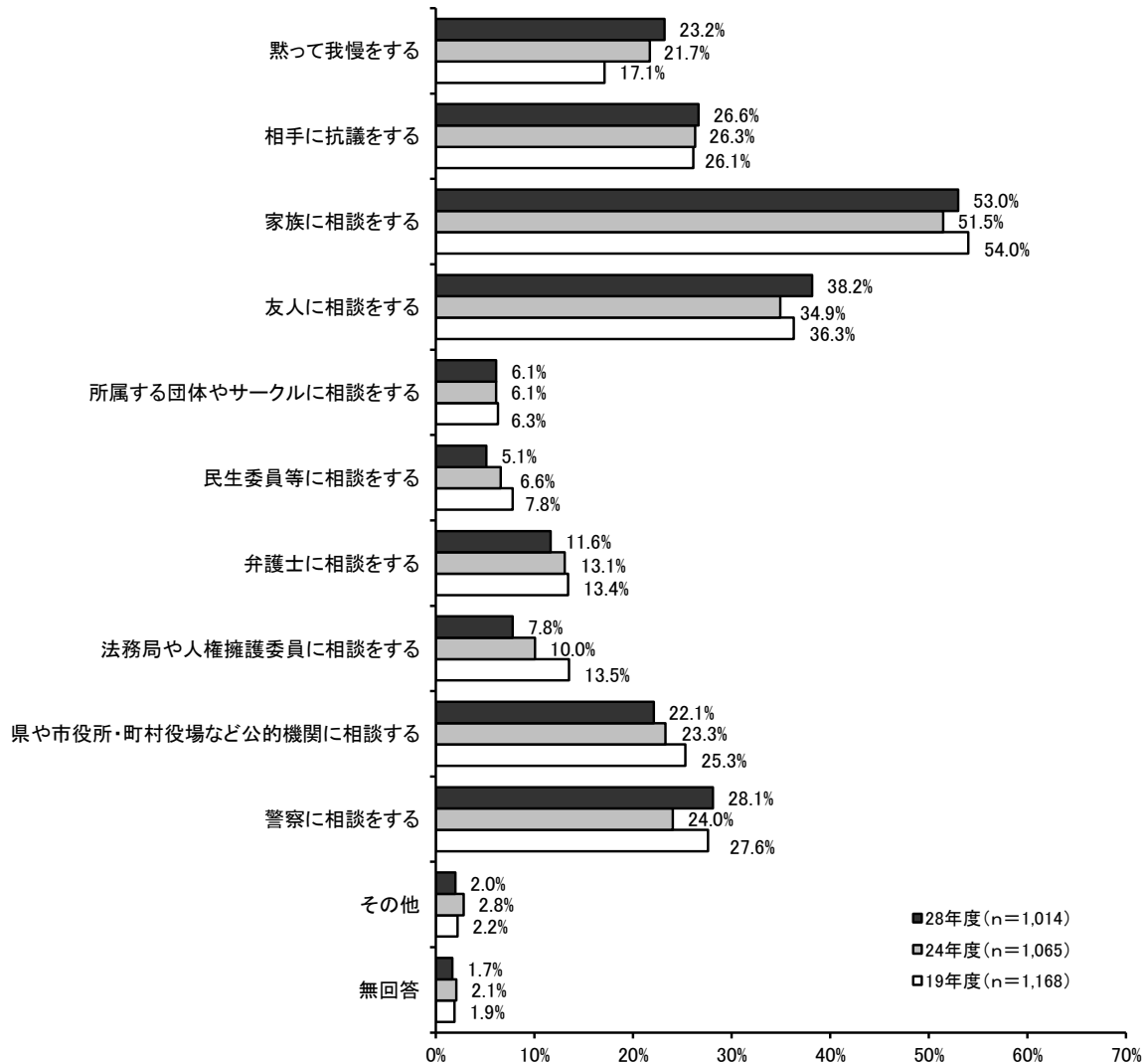
# 年代別



- いずれの年代においても「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」の割合が最も高くなっている。
- 「職場における差別待遇」は20歳代が33.3%、70歳以上が32.3%、40歳が30.1%と高くなっている。
- 「名誉・信用のき損、侮辱」は30歳代で25.4%と、いずれの年代に比べてやや高くなっている。

### (3) 人権侵害を受けたときの対応

問3 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。

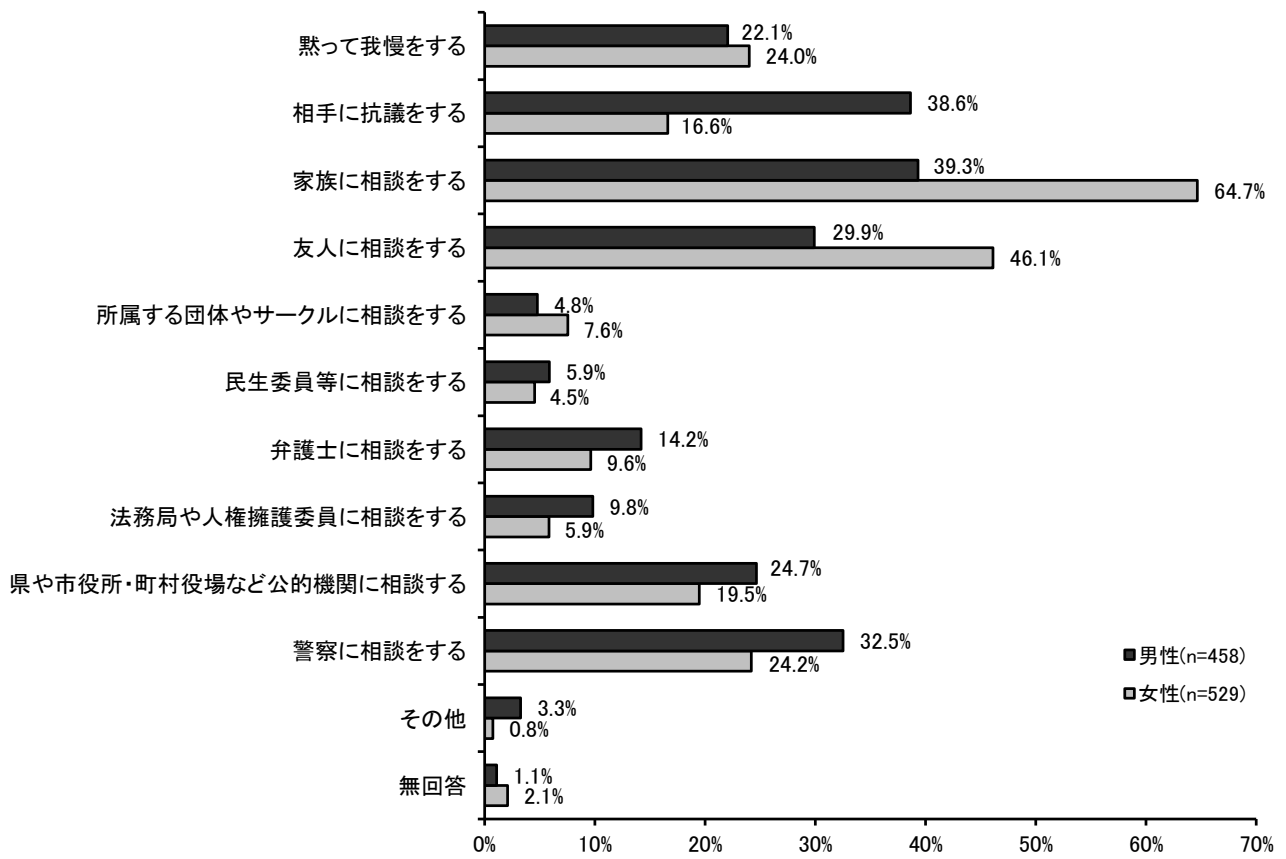


■ 「家族に相談をする」が53.0%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が38.2%、「警察に相談をする」が28.1%の順となっている。

#### 【前回・前々回比較】

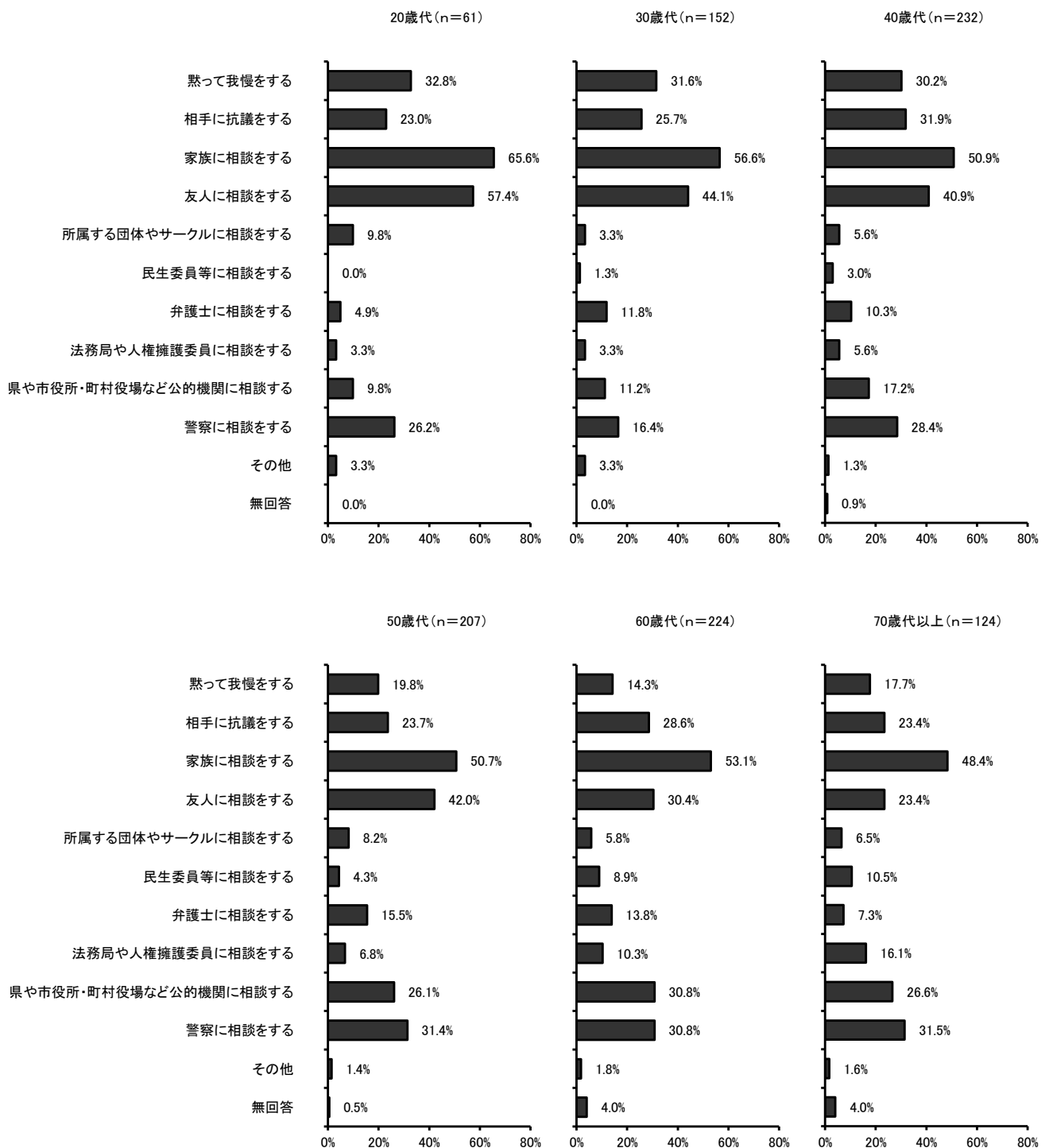
- 「警察に相談をする」は前回の24.0%より4.1ポイント、「友人に相談をする」は前回の34.9%より3.3ポイント、「黙って我慢をする」「家族に相談をする」は前回の51.5%、21.7%より1.5ポイントそれぞれ増加している。
- 「黙って我慢をする」は前々回と比べると6.1ポイント増加しており、「法務局や人権擁護委員に相談をする」が5.7ポイント減少している。

## 男女別



- 男女共に「家族に相談をする」の割合が最も高く、女性は6割を超えている。女性は男性より25.4ポイント高くなっている。
- 「友人に相談をする」は女性が4割を超えて高くなっている。
- 「相手に抗議をする」「弁護士に相談をする」「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は男性がやや高くなっている。

## 年代別

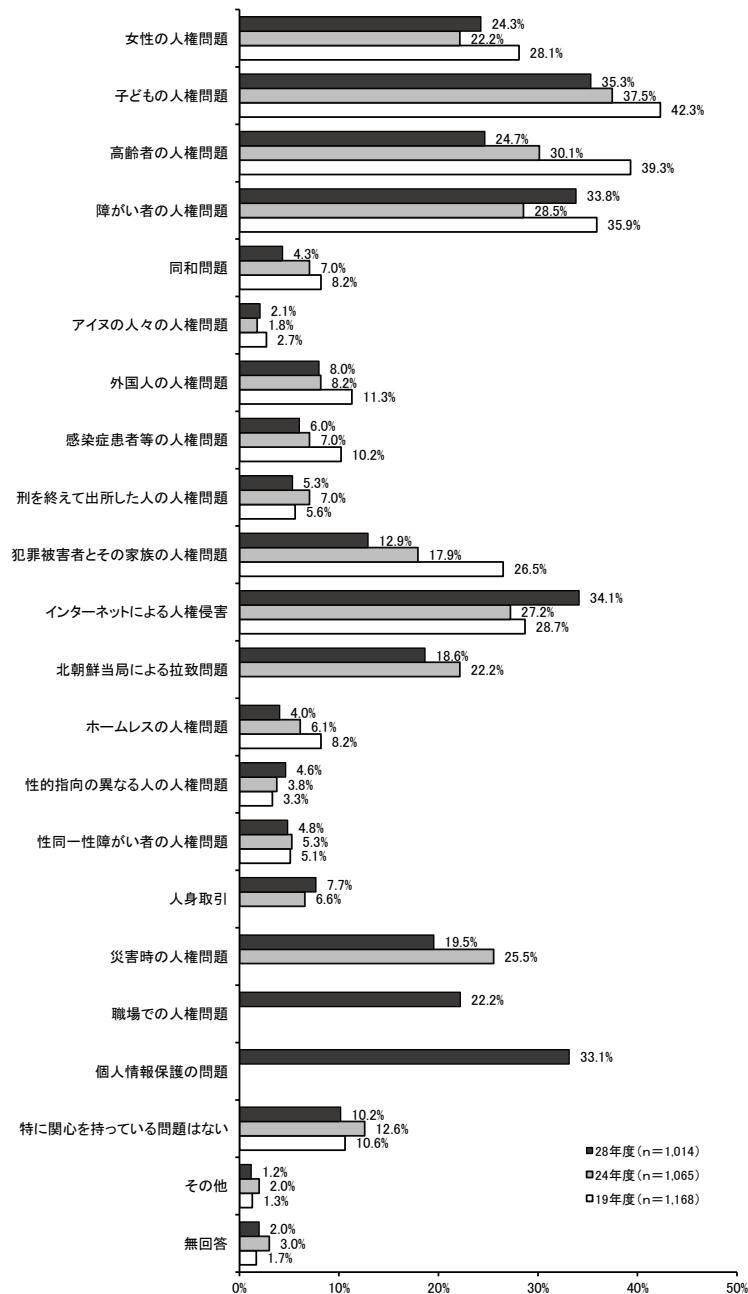


- いずれの年代においても「家族に相談をする」の割合が最も高くなっている。
- 「友人に相談をする」「黙って我慢をする」は若い年代ほど高くなる傾向がみられる。
- 「県や市役所・町村役場など公的機関に相談する」「警察に相談をする」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。



#### (4) 現在関心をもっている人権問題

問4 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。  
次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



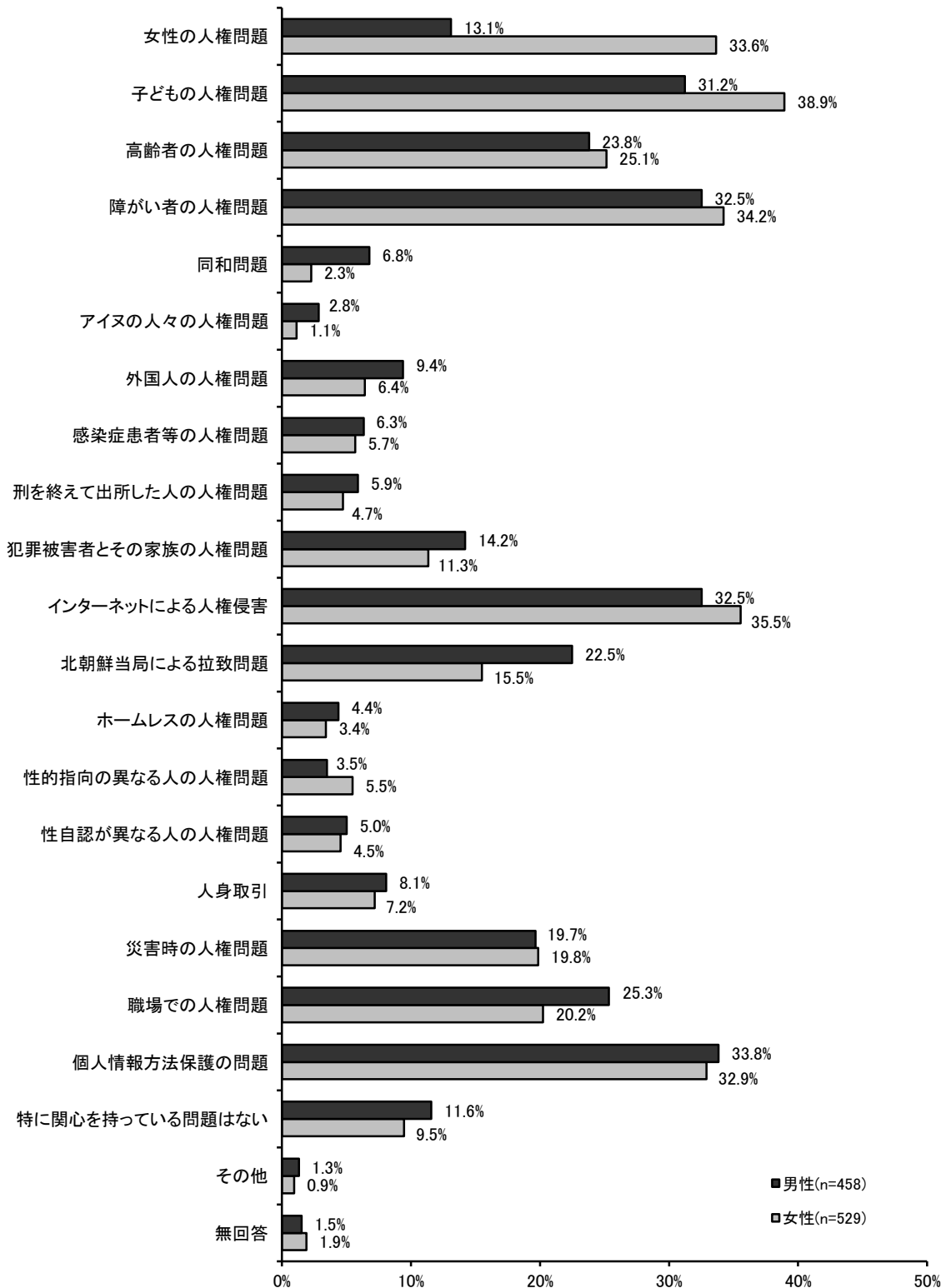
■「子どもの人権問題」が 35.3% で最も関心が高く、次いで「インターネットによる人権侵害」が 34.1%、「障がい者の人権問題」が 33.8%、「個人情報保護の問題」が 33.1% の順となっている。

#### 【前回・前々回比較】

■「インターネットによる人権侵害」は前回より 6.9 ポイント、「障がい者の人権問題」は前回より 5.3 ポイントそれぞれ増加しており、「災害時の人権問題」は前回より 6.0 ポイント、「高齢者の人権問題」は前回より 5.5 ポイント、前々回より 14.6 ポイントそれぞれ減少している。

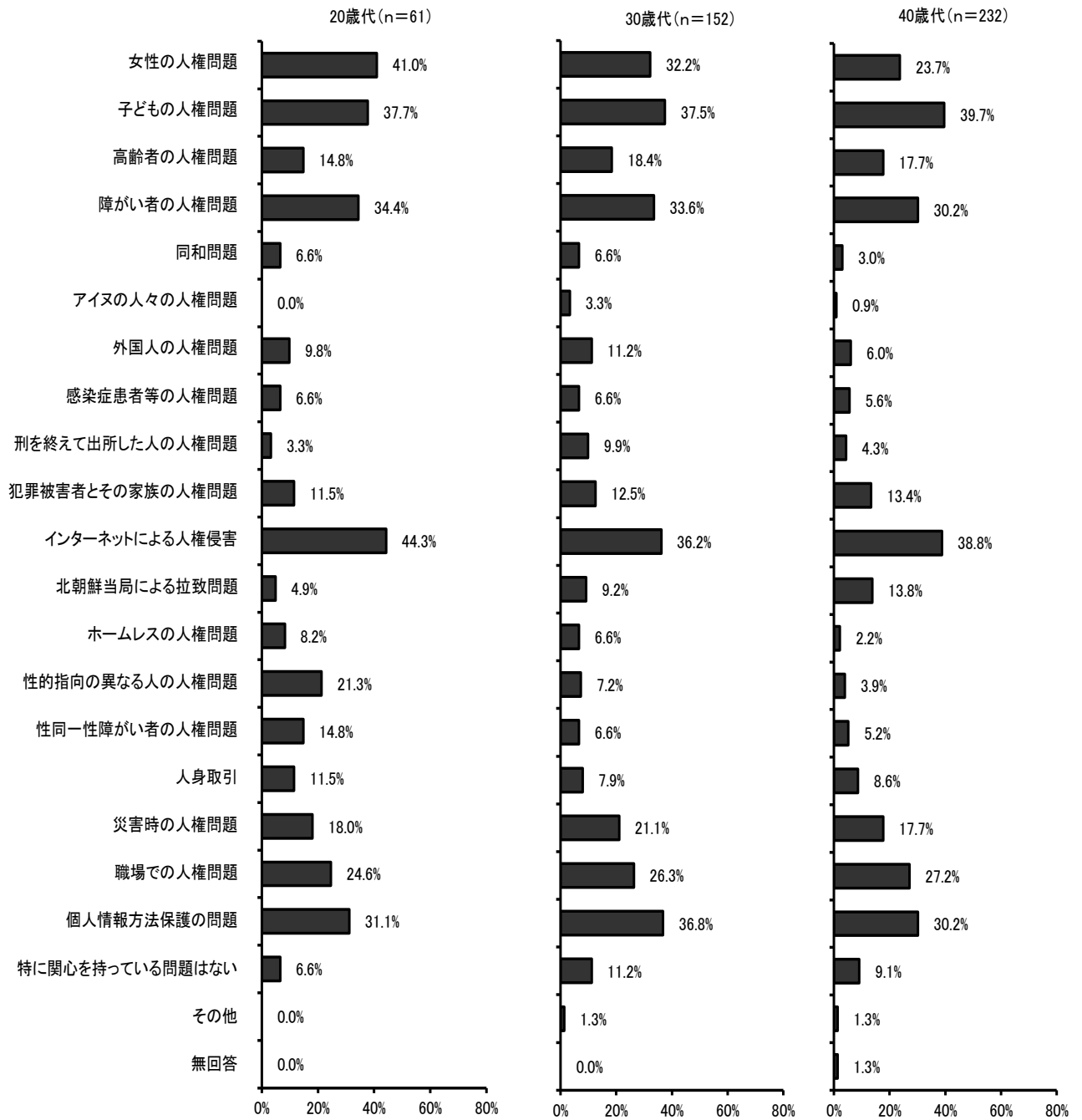
※「職場での人権問題」「個人情報保護の問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

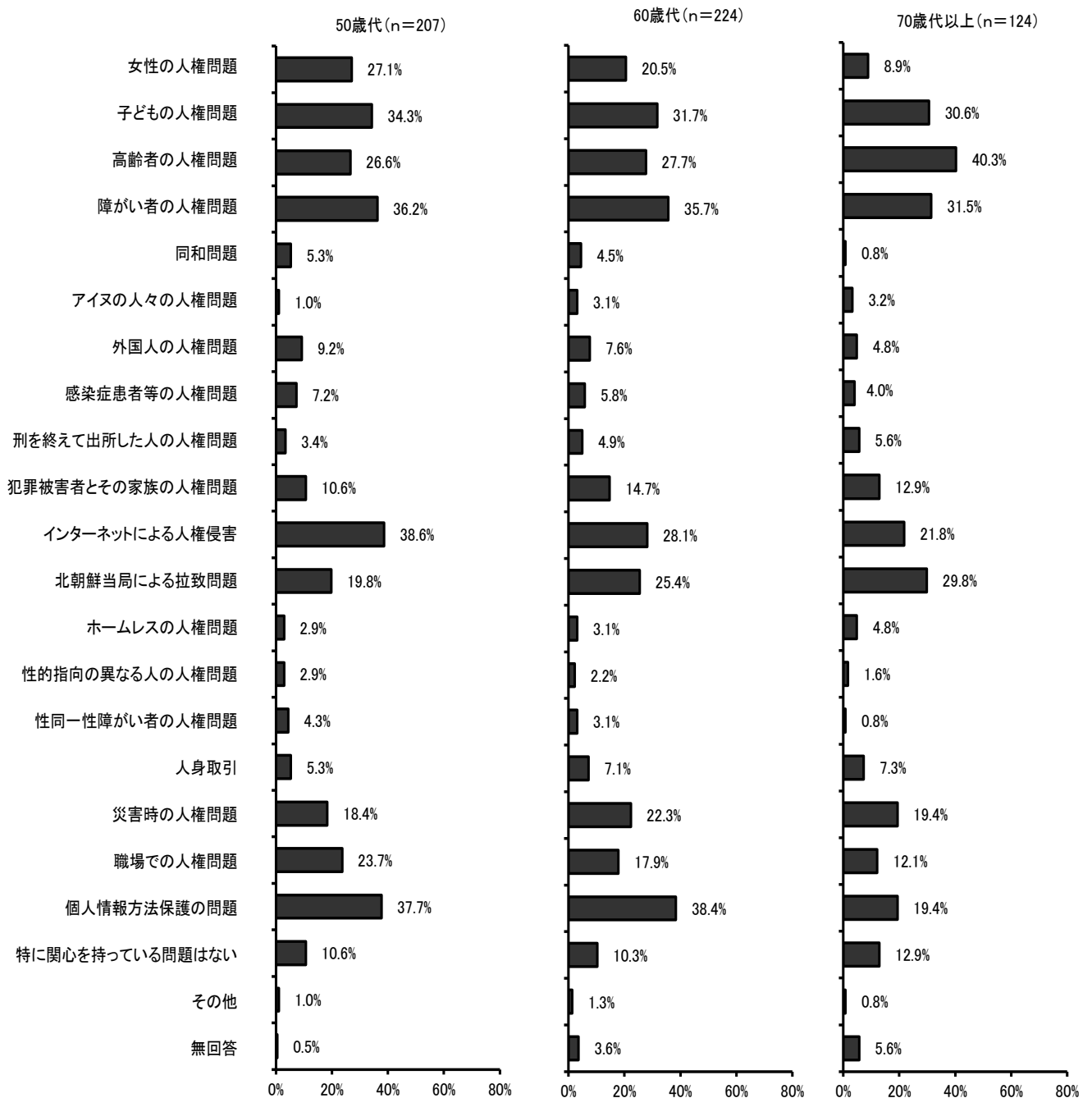
## 男女別



- 「子どもの人権問題」は男女共に最も関心が高く、「障がい者の人権問題」「インターネットによる人権侵害」「個人情報保護の問題」についても、男女共に3割以上が関心をもっている。
- 「女性の人権問題」について、男性は13.1%にとどまっているが、女性は33.6%と非常に関心が高くなっている。

年代別

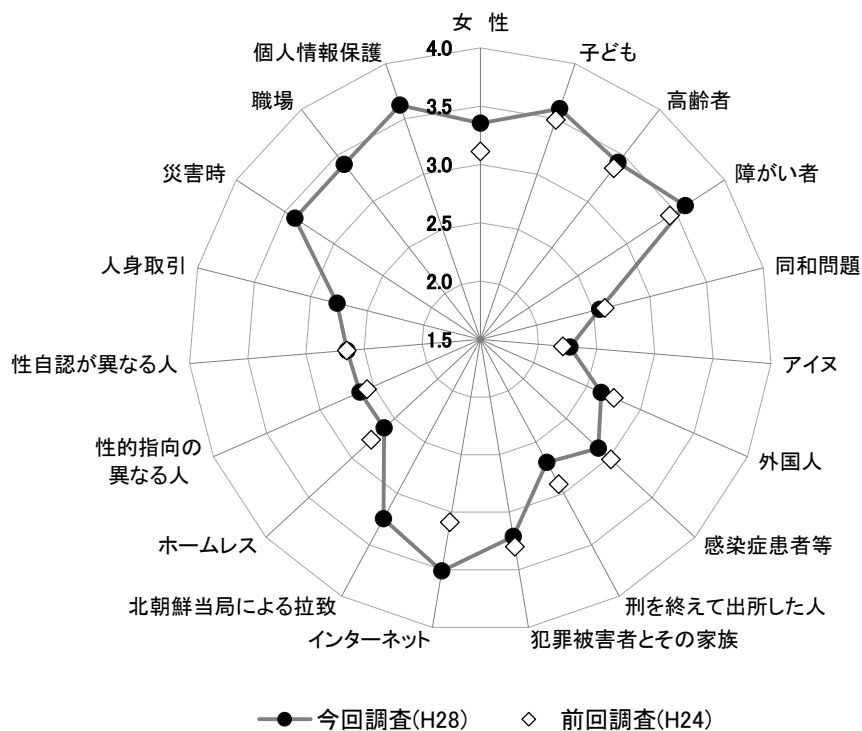




- 「子どもの人権問題」は、いずれの年代においても関心が高くなっている。
- 「インターネットによる人権侵害」は20歳代で44.3%と最も関心が高いが、年代が上がるにつれて関心が低くなっている。
- 「個人情報保護の問題」は60歳代で38.4%と最も関心が高く、70歳代以上では19.4%と低くなっている。

## (5) 各人権問題に対する関心度

- 問5において、各人権問題についての関心がどの程度あるのか、「かなりある」「まあまあある」「ふつう」「あまりない」「まったくない」の5段階で調査した。
- 調査結果について、「かなりある」を5点、「まあまあある」を4点、「ふつう」を3点、「あまりない」を2点、「まったくない」を1点とし、回答者による平均点を算出した（これを「関心度」と呼ぶ）。



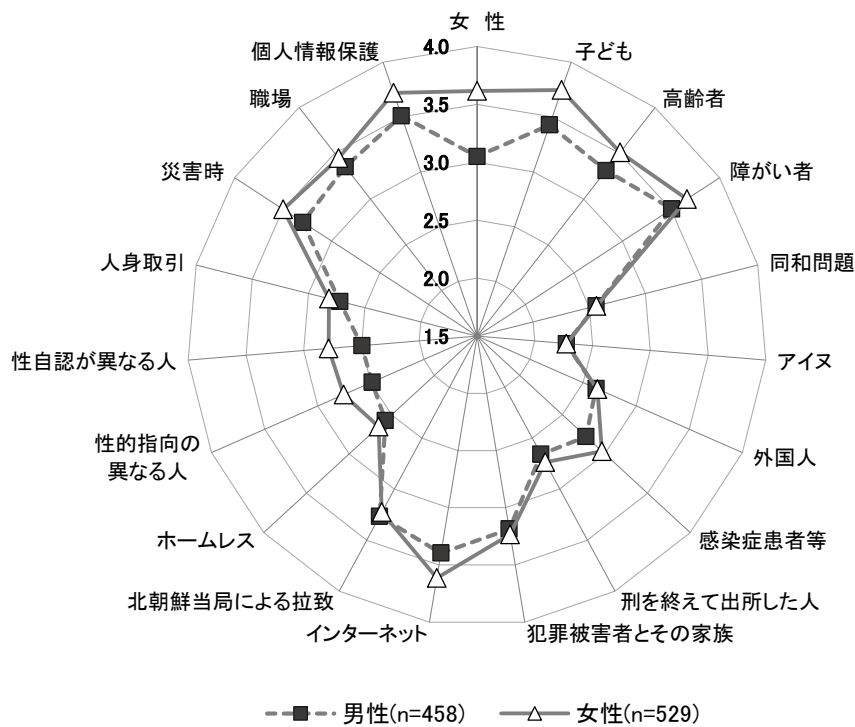
- 「個人情報保護の問題」が 3.62 点で最も高く、次いで「障がい者の人権問題」が 3.60 点、「子どもの人権問題」が 3.59 点、「インターネットによる人権侵害」が 3.51 点、「高齢者の人権問題」が 3.42 点、「災害時の人権問題」「職場での人権問題」が 3.40 点、「女性の人権問題」が 3.36 点、「北朝鮮当局による拉致問題」が 3.25 点の順となっている。
- 一方で「アイヌの人々の人権問題」が 2.27 点で最も低く、次いで「同和問題」が 2.55 点、「ホームレスの人権問題」が 2.62 点、「性的指向の異なる人の人権問題」「外国人の人権問題」が 2.63 点、「性同一性障がい等の性自認の異なる人の人権問題」が 2.65 点の順となっている。

### 【前回・前々回比較】

- 「インターネットによる人権侵害」は前回より 0.42 点、「女性の人権問題」は 0.25 点増加しており、「刑を終えて出所して人の人権問題」が 0.21 点、「感染症患者等の人権問題」「ホームレスの人権問題」が 0.15 点減少している。

※「職場での人権問題」「個人情報保護の問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

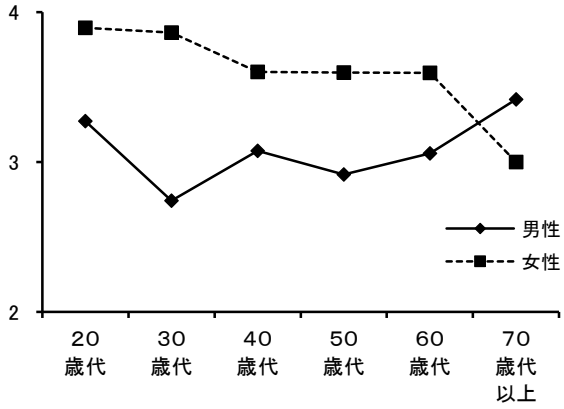
男女別



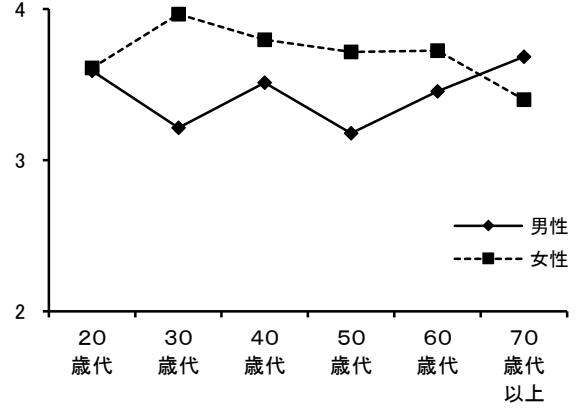
- 男女共に「子どもの人権問題」は男性が 3.43 点、女性が 3.74 点、「障がい者の人権問題」は男性が 3.51 点、女性が 3.66 点、「個人情報保護の問題」は男性が 3.51 点、女性が 3.72 点と関心度が高く、「アイヌの人々の人権問題」は男女共に 2.27 点と関心度は低くなっている。
- 「女性の人権問題」は男性の 3.05 点より女性が 3.62 点と 0.57 点高く、「子どもの人権問題」も男性の 3.43 点より女性が 3.74 点と 0.32 点高くなっており、女性の関心度が高い。
- 3 点以上となった関心度は 19 項目中、男女共に 10 項目となっている。

性別・年代別

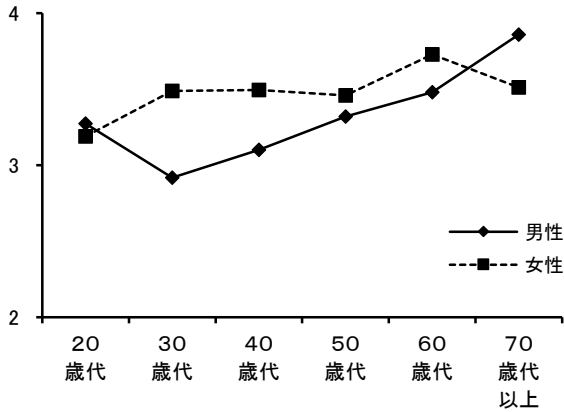
女性の人権問題



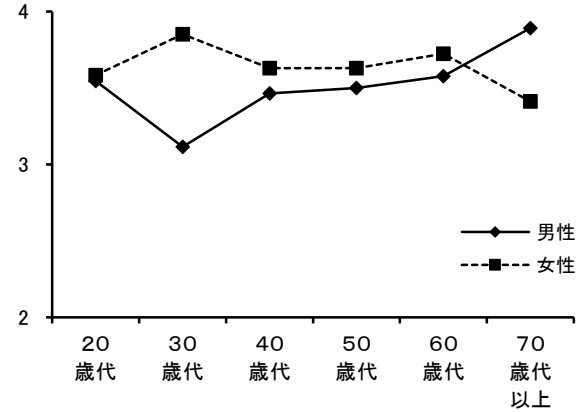
子どもの人権問題



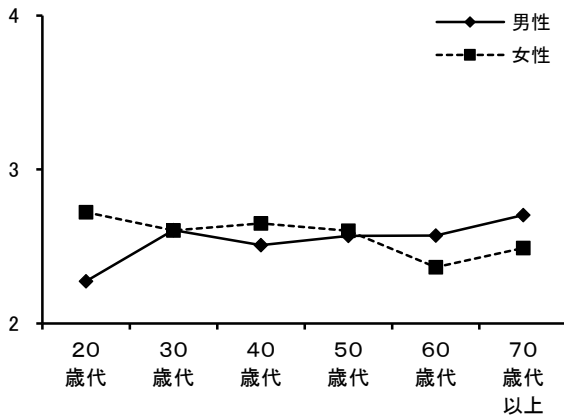
高齢者の人権問題



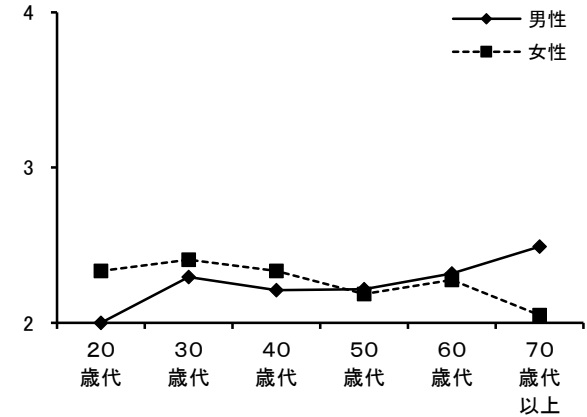
障がい者の人権問題



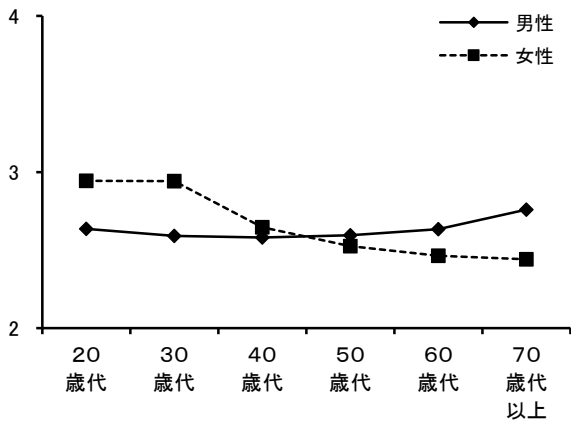
同和問題



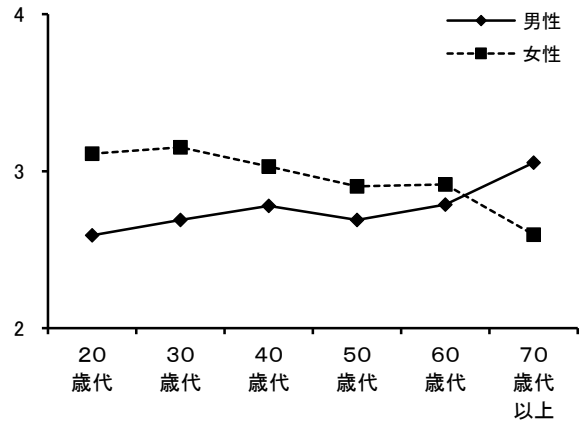
アイヌの人々の人権問題



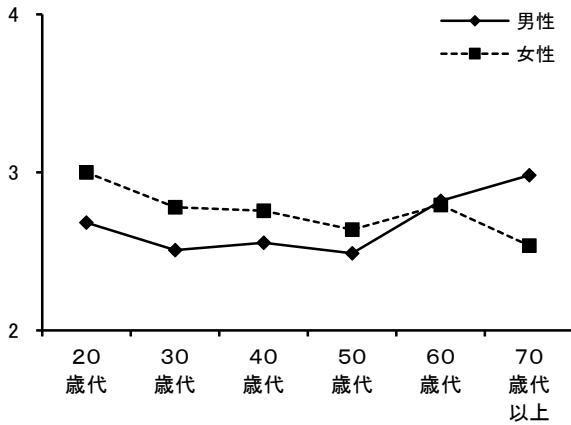
外国人の人権問題



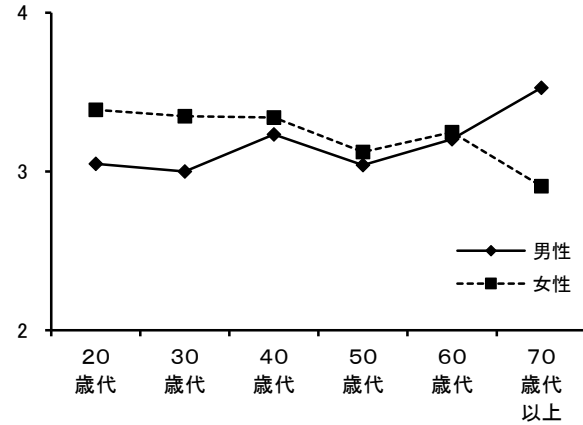
感染症患者等の人権問題



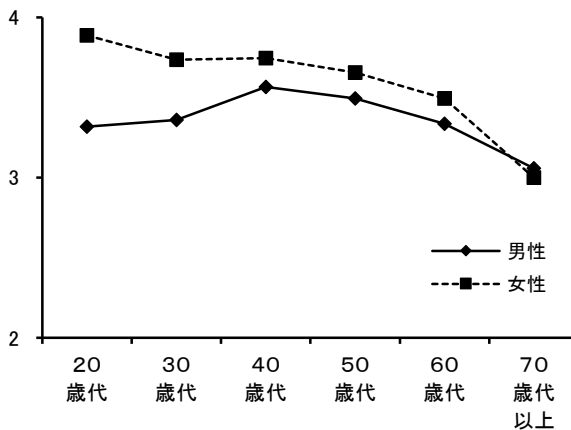
刑を終えて出所した人の人権問題



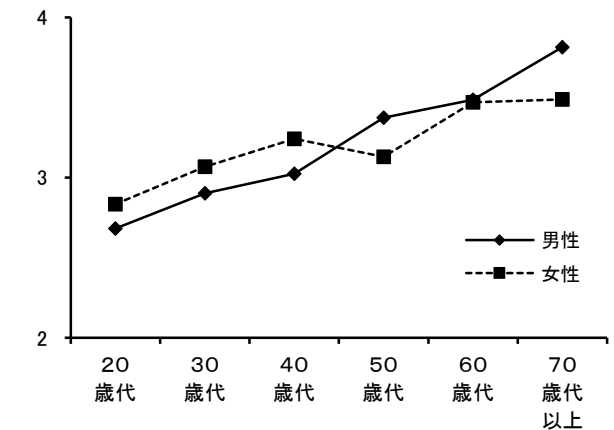
犯罪被害者とその家族の人権問題



インターネットによる人権侵害

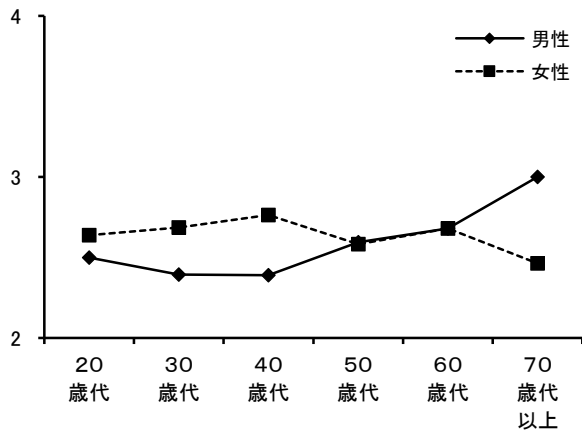


北朝鮮当局による拉致問題

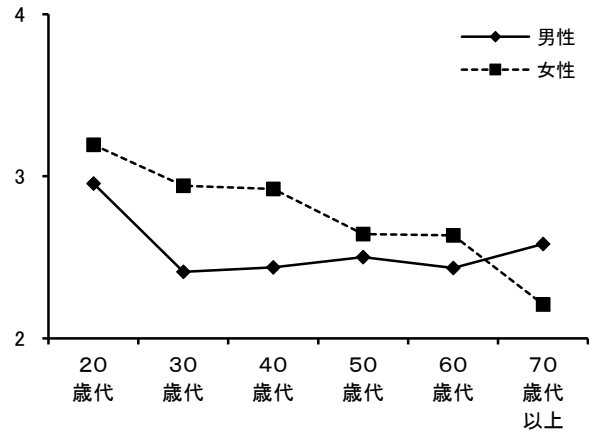




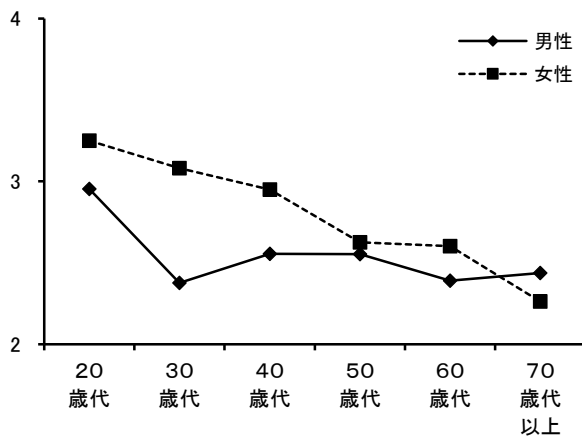
ホームレスの人権問題



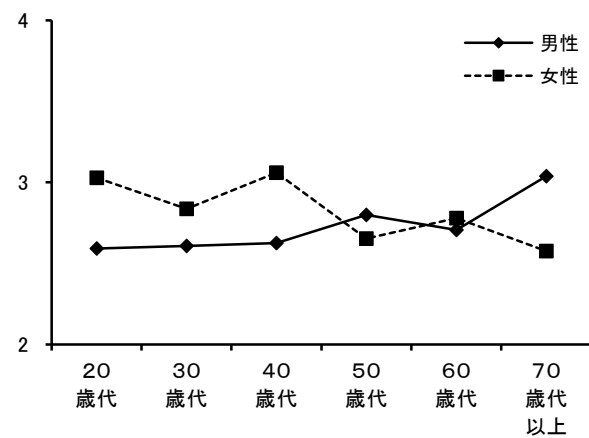
性的指向の異なる人の人権問題



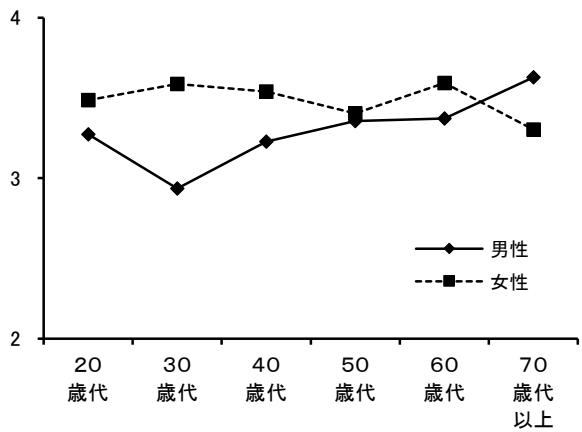
性同一性障がい等の性自認が異なる人の人権問題



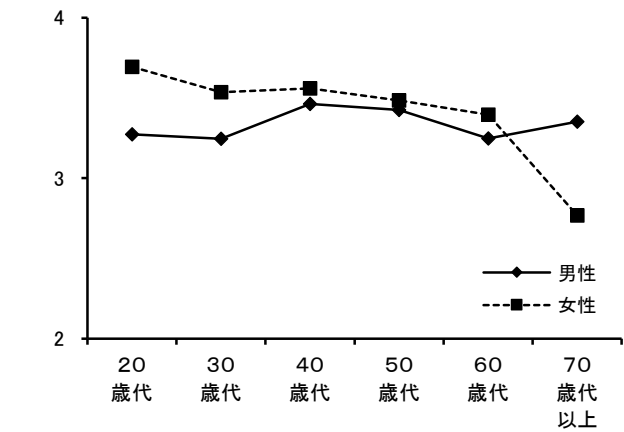
人身取引



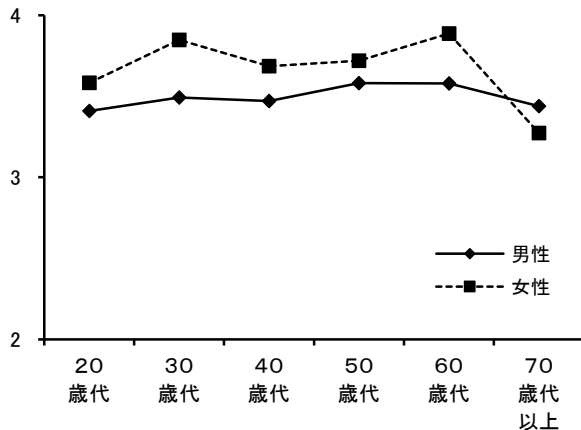
災害時の人権問題



職場での人権問題



個人情報保護の問題



- 女性の人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられ、男性との差が大きい。男性は30歳代が最も低くなっているが、70歳代以上の関心度は逆転している。
- 子どもの人権問題は、男女共にいずれの年代も関心度が高く、30歳代で男女間の差が大きい。50歳代の男女間の差もやや大きい。
- 高齢者の人権問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられる。女性は30～60歳代の関心度が高く、男性の20歳代と70歳代以上は女性より関心度がやや高い。
- 障がい者の人権問題は、30歳代で女性の関心度が高く男性との差が大きい。70歳代以上でもやや大きくなっている。いずれの年代も男女共にほぼ横ばいで、差はあまりない。
- 同和問題は、20歳代で女性の関心度がやや高く、男性との差が大きい。60～70歳代以上で男性の関心度がやや高いが、それ以外の年代では男女間の差はほとんどない。
- アイヌの人々の人権問題は、70歳代以上で男性の関心度がやや高いが、それ以外は男女共に関心度が低い。
- 外国人の人権問題は、20歳代と30歳代で女性の関心度が高く、男性との差がやや大きい。男女共にほぼ横ばいである。
- 感染症患者等の人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高く、男性は若い年代ほど関心度が低くなる傾向がみられる。20～30歳代と70歳代以上で男女間の差がやや大きい。
- 刑を終えて出所した人の人権問題は、70歳代以上で男性の関心度がやや高く、女性との差が大きい。それ以外は男女共にほぼ横ばいで、差はほとんどない。
- 犯罪被害者とその家族の人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられる。70歳代以上で男性の関心度が高く、女性との差がやや大きい。

- インターネットによる人権侵害は、20 歳代で女性の関心度が最も高く、男性との差が大きい。年代が上がるにつれて関心度が低くなる傾向がみられる。
- 北朝鮮当局による拉致問題は、男女共に年代が上がるにつれて関心度が高くなる傾向がみられ、70 歳代以上で関心度が最も高くなっている。男女共に横ばいで、差はあまりみられない。
- ホームレスの人権問題は、70 歳代以上で男性の関心度が高く、女性との差が大きい。50～60 歳代の年代では男女間の差はほとんどない。
- 性的指向の異なる人の人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられる。30～40 歳代は男女間で大きな差がみられる。
- 性同一性障がい等の性自認の異なる人の人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高くなる傾向がみられる。30 歳代は男女間の差が大きく、40 歳代はやや大きい。
- 人身取引は、20 歳代と 40 歳代と 70 歳代以上で男女間の差が大きくみられる。それ以外の年代では男女間の差はあまりみられない。
- 災害時の人権問題は、20～60 歳代は女性の関心度が高く、30 歳代では男女間の差が大きい。70 歳代は男性の関心度が高くなっている。
- 職場での人権問題は、女性は若い年代ほど関心度が高く、70 歳代では男女間の差が大きい。男性の関心度はほぼ横ばいになっている。
- 個人情報保護の問題は、男女共に関心度が高く、男性はほぼ横ばいになっている。女性は 30 歳代と 60 歳代で関心度が高く、70 歳代以上は低くなっている。30 歳代と 60 歳代は男女間で関心度の差がやや大きい。